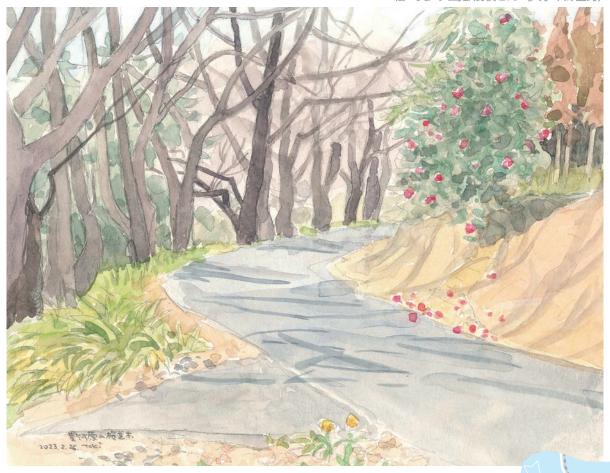


絵・文/大島都幾枝さん(大字本郷出身)



冬の桜並木(大字雲河原地内)

雲河原へ向かう主要な道路が3本ある。別所から登る道、 松郷峠の頂上から入る道、そして、西平の信号を松郷峠に 向かって少し行き、Y字路を右折して登る道。この絵は3 本の道が合流するところにある桜並木を描いたもの。 桜の花が見ごろを迎えると、ここは町でも屈指の花見ス ポットになるが、枝や幹が重なり合って醸し出すモノトー ンの彩りは、この季節ならではの美しさだ。

【編集後記】例年より寒さが厳しいと感じていると、スキー場が予定通りにオープンできたのは5年ぶりという記事を目にした。私も白銀の世界へと足を運び、広報の編集でなまった体を動かしてきた。駐車場でふらつくご老体を見かけ「家で安静にしていたほうが良いのでは?」と心配していたが、ゲレンデでの彼は私に雪をまき散らしながら颯爽と急斜面を滑り降りていく。スノーボードのイントラ資格を保有する私だが全く追いつけない。これがバブル時代を生き抜き、日本の経済発展を支えてきた英雄たちの姿か。苗場や湯沢の廃れたホテルとは対照的に、光り輝くその後ろ姿が眩しい。我々ゆとり世代も後に続こうではないか。【笠原】



